

2020年度 和歌山市立福島学校 スクールプラン(学校運営計画書)

校長名 中村 祐佳子 作成日 2020年 4月 1日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 学力を身につけてほしい。
- 人の気持ちがわかる子どもに育ててほしい。
- 明るく楽しい学校にしてほしい。

【学校教育目標】

徳育・体育・知育の調和がとれ、豊かな感性と正しくたくましく生きぬく力をもった子どもを育てる。

【めざす子ども像】

- ・豊かな心情をもち、励まし合う子ども
- ・すすんで心身をきたえるたくましい子ども
- ・勤労と責任を重んじ、実行する子ども
- ・よく考え、主体的(自主的)に学習する子ども

前年度の学校評価

- 地域や保護者への情報発信をこまめに行うことが出来た。
- 全教員が授業研究に取り組み、授業力の向上を図ることが出来た。

児童の実態

- 明るく素直である。
- 活動的である。
- 与えられた課題に対してまじめに取り組む。
- 自分の考えを的確に伝える力が弱い。

重点目標	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校	◎：特に重点的に取り組むこと
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○言語活動・主体的な学習の充実 ○授業研究の充実 ○家庭学習の定着 ○読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳・人権教育の推進 ○望ましい人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度の育成 ○いじめの未然防止、早期発見 	<ul style="list-style-type: none"> ○体力向上の推進 ○基本的生活習慣の確立 ○危機回避能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭・地域との連携充実 ○地域の資源活用の推進 ○保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進 	◎：特に重点的に取り組むこと
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節目となる場面で「書く活動」を多く取り入れ、課題解決に向けて主体的に学習に取り組む姿勢を身につけさせる。 ・ 学習活動全般に渡って、児童が自分の考えを積極的に伝え、ともに学び合う機会を多く取り入れる。 ・ 授業力向上に向け全員が年間1回は研究授業を行うようにする。 ・ 家庭と連携しながら、自主学習ノートや「カルテック」を活用し家庭学習の定着を図る。 ・ 「読書タイム」や「うちどく」の取組を通じて読書習慣の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「道徳」の時間をはじめ、全教育活動を通じて道徳教育・人権教育をすすめる。 ・ 校外児童会や縦割り清掃等、異年齢で活動する機会を多く取り入れる。 ・ 「福島のみまり」等について全教職員で共通理解を図りながら、全員が同じ指導を行うよう心がける。また、保護者へも指導内容を知らせ、家庭と連携を図りながら指導を行っていく。 ・ 「いじめアンケート」を年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育科の授業の充実を図り、子供の運動能力・体力の向上に努める。 ・ 外遊びの推奨や校内縄跳び大会等の開催、「県チャレンジランキング」の参加を通じて体力の向上を図る。 ・ 「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する。 ・ 「避難訓練」や「交通安全教室」を計画的に行い、危機回避能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校だより、学級だより、HP等様々な手段で、学校の教育活動や児童の様子を保護者や地域の方々に情報発信していく。 ・ 夏祭りや集会等を通じて地域の方々との交流を図る。また地域で行われる行事等にも積極的に参加し、交流を図る。 ・ ゲストティーチャー、図書ボランティア等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する。 ・ 保幼小の接続、中学校区での小小、小中の連携を推進・充実する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均を上回る。 ・ 学校評価アンケート「わたしは毎日の勉強がわかる」で「とてもそう思う(よくわかる)」(児童90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「わたしは学校が楽しい」で「とてもそう思う(とても楽しい)」が(児童90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「今、休憩時間は外で元気に遊んでいる」で「あてはまる」(児童90%) ・ 「生活リズムチェック」で「朝ごはんを食べた」等(児童100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校は、学校の教育目標や子どもの様子を保護者にわかりやすく伝えている」で「とてもそう思う」「どちらかといえばそう思う」併せて(保護者90%) ・ 地域の人材や資源を活用した取組を行った。(教員100%) 	